

火薬類災害事故年報

平成 15 年（ 1 ～ 12 月 ）

経済産業省原子力安全・保安院保安課

年報閲覧時の注意

- 1.〔 〕～〔 〕中、件、死、傷の欄が空欄の場合は0(ゼロ)を表す。
また、傷の欄は、重傷 - 軽傷の順を表す。
- 2.〔 〕中、級の欄のA、B、Cは、次の内容を表す。
 - A: 次の各号の一に該当するものをいう。
死者(事故発生から5日以内に死亡したもの)5名以上のもの。
死者及び重傷者(1ヵ月以上、以下同じ。)10名以上のものであって、 以外のもの。
死傷者(軽傷者を含む)30名以上のものであって、 及び 以外のもの。
甚大な物的被害(直接損害額約5億円以上)を生じたもの。
大規模な爆発又は災害が進行中であって、大災害に発展するおそれがあるもの。
その発生形態、災害の影響程度、被害の態様(第3者が多数含まれている場合)、テレビ、新聞等の取扱い等により著しく社会的影響が大きいと認められるもの。
 - B: A級以外の事故で次の各号の一に該当するものをいう。
死者1名以上4名以下のもの。
重傷者2名以上9名以下のものであって 以外のもの。
負傷者6名以上29名以下のものであって 以外のもの。
多大な物的被害(直接損害額約1億円以上、5億円未満)を生じたもの。
同一事業所において、事故が連続して発生したもの。
社会的に影響が大きいと認められるもの。
 - C: A級事故及びB級事故以外の事故。

(参考)

年報の記載事項は、次のとおり分類する。

年報の記載事項				分類基準	
項目	種類		取扱		
〔 〕総括表(取扱・種類別一覧表) 〔 〕取扱別一覧表 〔 〕種類別一覧表(経済産業局・都道府県別) 〔 〕年別比較表(平成11年～平成15年) 〔 〕事故一覧表	産 業 火 薬	煙 火	がん具煙火	製造中	分類
				消費中	分類
				運搬中	分類
				貯蔵中	分類
				がんろう中	分類
				その他事故	分類
〔 〕参考			盗難・紛失		分類
			その他		分類
			火取法対象外		分類

- 分類 産業火薬、煙火、がん具煙火(以下「火薬類」という。)の製造中における、火薬類が起因した人的被害若しくは、物的被害を発生させたもの。(以下「事故」という。)
- 分類 火薬類の消費中における事故。
- 分類 火薬類の運搬中における事故。
- 分類 火薬類の貯蔵中における事故。
- 分類 火薬類のがんろう(故意に不適切な扱いを行うこと。)中における事故。
- 分類 製造、消費、運搬、貯蔵、がんろうに属せず、火薬類に起因した事故。
- 分類 火薬類の盗難・紛失に関するもの。
- 分類 火薬類が想定外の状態に至ったものの、火薬類が起因した人的被害及び物的被害が発生していないもの。
(製造中における小規模な発火、煙火の地上開発若しくは、黒玉の発生等の潜在的な危険性を有するもの。)
- 分類 火取法の適用を受けず、火薬に起因したもの。(不発弾の発見又は不発弾による事故等)

目 次

〔 〕 総括表（取扱・種類別一覧表）	頁 1
〔 〕 取扱別一覧表	2
〔 〕 種類別一覧表（各経済産業局・都道府県別）	5
〔 〕 年別比較表（平成11年～平成15年）	7
〔 〕 事故一覧	8
〔 〕 参 考	18

〔 〕 総括表（取扱・種類別一覧表）

項 目		件		死		傷	
取扱	種 類 別	件	計	死	計	傷	計
製 造 中	産 業 火 災	1	} 2	0	} 9	0 - 1	} 2 - 4
	煙 火	1		9		2 - 3	
	が ん 具 煙 火	0		0		0 - 0	
消 費 中	産 業 火 災	7	} 31	0	} 4	3 - 4	} 7 - 23
	煙 火	22		4		3 - 19	
	が ん 具 煙 火	2		0		1 - 0	
運 搬 中	産 業 火 災	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	が ん 具 煙 火	0		0		0 - 0	
貯 蔵 中	産 業 火 災	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	が ん 具 煙 火	0		0		0 - 0	
が ん ろ う 中	産 業 火 災	0	} 1	0	} 0	0 - 0	} 1 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	が ん 具 煙 火	1		0		1 - 0	
そ の 他 事 故	産 業 火 災	3	} 3	0	} 0	1 - 0	} 1 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	が ん 具 煙 火	0		0		0 - 0	
合 計	産 業 火 災	11	} 37	0	} 13	4 - 5	} 11 - 27
	煙 火	23		13		5 - 22	
	が ん 具 煙 火	3		0		2 - 0	

〔 〕 取扱別一覧表

1. 製造中

1) 産業火薬

項 目	件	死	傷	備 考
製造中	1		0 - 1	東京都
計	1	0	0 - 1	

2) 煙 火 (がん具煙火を除く。)

項 目	件	死	傷	備 考
製造中	1	9	2 - 3	鹿児島県
計	1	9	2 - 3	

3) がん具煙火

項 目	件	死	傷	備 考
計	0	0	0 - 0	

2. 消費中

1) 産業火災

項 目	件	死	傷	備 考
飛石・落石等	7		3 - 4	青森県、岐阜県、群馬県、 長野県、和歌山県、愛知県、 福島県
計	7	0	3 - 4	

2) 煙 火 (がん具煙火を除く。)

項 目	件	死	傷	備 考
部品等落下	14		1 - 13	長野県×3、栃木県、 沖縄県×2、愛知県、埼玉県、 福岡県×2、岩手県、静岡県、 岐阜県、大阪府
その他(不注意・取扱未熟等)	8	4	2 - 6	大阪府、愛知県、鹿児島県、 徳島県、鳥取県、富山県、 広島県、山口県
計	22	4	3 - 19	

3) がん具煙火

項 目	件	死	傷	備 考
取扱中の不注意	2		1 - 0	福井県、東京都
計	2	0	1 - 0	

3. 運搬中

項目	件	死	傷	備考
計	0	0	0 - 0	

4. 貯蔵中

項目	件	死	傷	備考
計	0	0	0 - 0	

5. がんろう中

種類	件	死	傷	備考
がん具煙火	1		1 - 0	宮城県
計	1	0	1 - 0	

6. その他事故

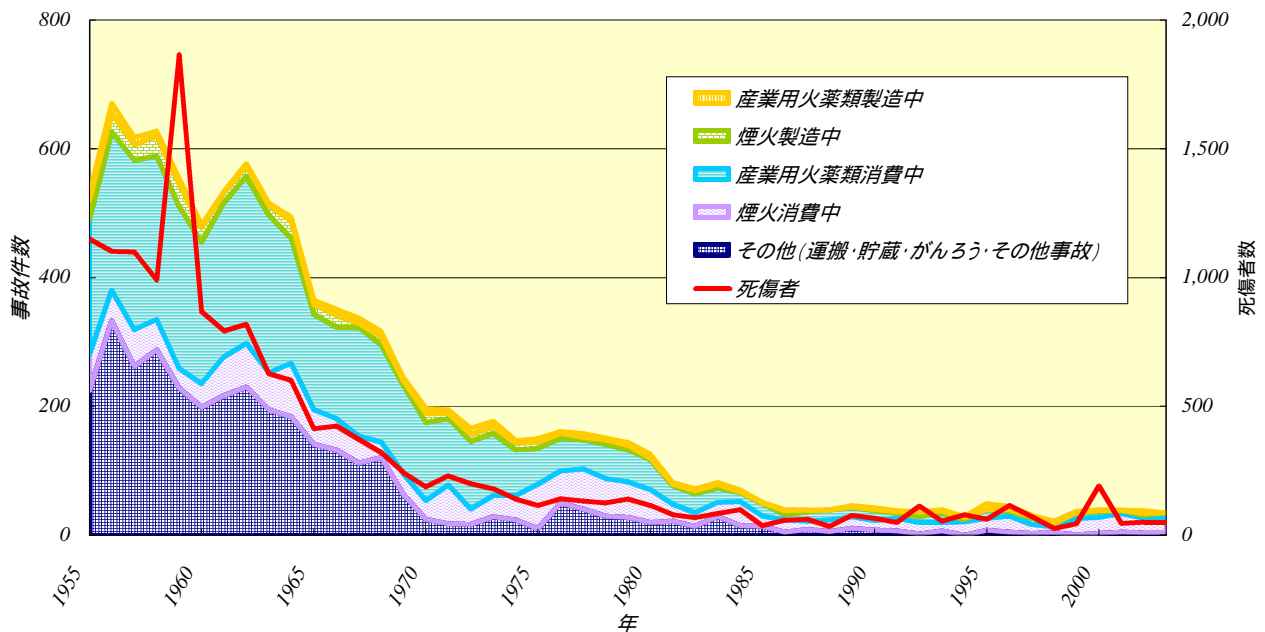
種類	件	死	傷	備考
産業用火薬	3		1 - 0	大分県、高知県、岡山県
計	3	0	1 - 0	

〔 〕種類別一覧表（各経済産業局・都道府県別）

		製 造 中						消 費 中						運 搬 中										
		産業火災			煙 火			産業火災			煙 火			が ん 具 煙 火										
		件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷								
北 海 道	青森						1	0	1-1															
	岩手									1	0	0-1												
	宮城																							
	秋田																							
	山形																							
北 小 計	福島						1	0	0-0															
	小計						2	0	1-1	1	0	0-1												
関 東	茨城																							
	栃木									1	0	0-1												
	群馬						1	0	0-1															
	埼玉									1	0	0-1												
	千葉																							
	東京	1		0-1									1	0	1-0									
	神奈川																							
	新潟																							
東 小 計	長野						1	0	0-0	3	0	0-1												
	静岡									1	0	0-1												
	小計	1		0-1				2	0	0-1	6	0	0-4	1	0	1-0								
中 部	富山									1	1	0-0												
	石川																							
	岐阜						1	0	0-0	1	0	1-2												
	愛知						1	0	0-2	2	0	0-3												
中 小 計	三重																							
	小計						2	0	0-2	4	1	1-5												
	福井												1	0	0-0									
近 畿	滋賀																							
	京都																							
	大阪									2	0	0-1												
	兵庫																							
	奈良																							
近 小 計	和歌山						1	0	2-0															
	小計						1	0	2-0	2	0	0-1	1	0	0-0									
中 国	鳥取									1	1	0-1												
	島根																							
	岡山									1	0	0-1												
	広島									1	2	1-1												
中 小 計	山口																							
	小計									3	3	1-3												
	徳島									1	0	1-0												
四 国	香川																							
	愛媛																							
九 州	高知																							
	小計									1	0	1-0												
	福岡									2	0	0-1												
	佐賀																							
	長崎																							
九 州 小 計	熊本																							
	大分																							
	宮崎																							
九 州 小 計	鹿児島				1	9	2-3				1	0	0-1											
	小計				1	9	2-3				3	0	0-2											
沖 縄										2	0	0-3												
合 計							1	0	0-1	1	9	2-3	7	0	3-4	22	4	3-19	2	0	1-0	0	0	0-0

		貯蔵中			がんろう中			その他事故			計		
					がん具煙火			産業火災					
		件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷
北 東 北	北海道												
	青森									1	0	1-1	
	岩手									1	0	0-1	
	宮城				1	0	1-0			1	0	1-0	
	秋田												
	山形												
関 東	福島									1	0	0-0	
	小計				1	0	1-0			4	0	2-2	
	茨城												
	栃木									1	0	2-1	
	群馬									1	0	0-1	
	埼玉									1	0	0-1	
東	千葉												
	東京									2	0	1-1	
	神奈川												
	新潟												
	山梨									4	0	0-1	
	長野									1	0	0-1	
中 部	静岡												
	小計									10	0	3-6	
	富山									1	1	0-0	
	石川												
	岐阜									2	0	1-2	
	愛知									3	0	0-5	
近 畿	三重												
	小計									6	1	1-7	
	福井									1	0	0-0	
	滋賀												
	京都												
	大阪									2	0	0-1	
中 国	兵庫												
	奈良												
	和歌山									1	0	2-0	
	小計									4	0	2-1	
	鳥取									1	1	0-1	
	岡山							1	0	0-0	1	0	0-0
四 国	広島									1	0	0-1	
	山口									1	2	1-1	
	小計									4	3	1-2	
	徳島									1	0	0-1	
	香川												
	愛媛							1	0	1-0	1	0	1-0
九 州	高知									1	0	1-0	
	小計									1	0	1-0	
	福岡									2	0	0-1	
	佐賀												
	長崎												
	熊本							1	0	0-0	1	0	0-0
沖 縄	大分												
	宮崎									2	9	2-4	
合 計	鹿児島									1	0	0-0	
	小計									5	9	2-5	
沖縄										2	0	0-3	
合 計		0	0	0-0	1	0	1-0	3	0	1-0	37	13	11-27

〔 〕年別比較表（平成11年～平成15年）



1. 種類・取扱別（総括表）

種類	項目 年	製造中			消費中			運搬中			貯蔵中			がんろう中			その他事故			合計		
		件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷
産 業 火	11	2	0	2	9	2	2-3	1			0			0						12	2	2-5
	12	2	1	79	8		0-2	1			1			0						12		1-81
	13	1	0	1	4			1			0			1		0-1	1		0	7		0-2
	14	4	1	2	5		0-4	0			0			1		0-1	0		0	10		1-7
	15	1	0	1	7	3	3-4	0			0			0			3	1	0	11		4-5
煙 火	11	0			21	1	7-27	0			0			0						21	1	7-27
	12	1	1		23		7-99	0			1			0						25	1	7-99
	13	0			28		8-33	0			1	0-1	1	1	1-0	1		0	30		9-34	
	14	3	3	3	20		3-27	1			0			2		0-5	2		0	25		6-35
	15	1	9	2-3	22	4	3-19	0			0			0			0		0	23	13	5-22
が ん 具 火	11	0			4			0			0			0						4		0-0
	12	1	0	1	2	1	0	0			0			0						3		1-1
	13	0			1			0			0		1	1	0	0		0	2		1-0	
	14	0			2	2	0	0			0			0			0		0	2		2-0
	15	0			2	1	0	0			0		1	1	0	0		0	3		2-0	
合 計	11	2	0	2	34	3	9-30	1			0			0						37	3	9-32
	12	4	1	80	33		8-101	1			2			0						40	1	9-181
	13	1	0	1	33		8-33	1			2	1-1	2	1	1	2	1	1	39		10-36	
	14	7	4	5	27		5-31	1			1	0-1	2	0	5	2	0	5	38		9-42	
	15	2	9	2-4	31	4	7-23	0			0			1	1	0	3	1	0	37	13	11-27

[] 事故一覧

(産業火災)

1. 製造中(製造所関係)

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	3.12 8:35	東京都 あきる野市	0	0- 1	C	爆薬混和工室において過塩素酸カリウムとジルコニウムを混和器で混和する作業の準備中に発火。火災は発生しなかったが、作業員1名が軽傷を負い救急車で病院へ搬送された。同工室の天井と窓が破損した。
合計		1件	0	0- 1		

2. 消費中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	6.18 18:00	青森県 青森市	0	1- 1	C	砕石場においてベンチ発破及び小割発破を行っていたところ、飛石が発生し、約106m離れた地点に待機していた作業員のうち、重機オペレーター1名が右腕上腕部、右親指及び、右人差指骨折、胸部裂傷の重傷を負い、発破工1名が右上腕部と背中に裂傷を負った。
2	8. 6 17:10	岐阜県 加茂郡	0	0- 0	C	東海環状自動車道富加関インターチェンジの改良工事の発破において、こぶし大の石が飛び、屋根に20cm大の穴が2ヶ所空いた。
3	9.19 16:53	群馬県 桐生市	0	0- 1	C	採石場において、上がり発破(業務終了前の最後の発破)を行ったところ、切羽から50m程度離れた場所で保安帽未着用で削岩機を整備していた従事者の頭部に発破による飛石が当たった。罹災者は17時30分頃、救急車で桐生厚生病院へ搬送され、レントゲン撮影を行った結果、脳には異常がなかったが、頭部に3cmほどの裂傷を負った。
4	10.28 17:15	愛知県 瀬戸市	0	0- 2	C	17時10分及び17時15分に硬岩発破を行ったところ、2回目の発破で飛石が発生し、約350m離れた民間工場の敷地内3箇所(屋外駐車場1箇所、工場屋根を突き破った2箇所)に落下した。この際、屋根のスレートの破片が工場内で作業をしていた授業員2名に当たり打撲を負ったが、2名とも提示まで作業を続行し、その後、1名のみ病院へ行き、湿布薬をもらって帰宅した。もう1名はそのまま帰宅した。

5	11.11 15:00	長野県 南佐久郡	0	0- 0	C	国道299号佐久町本郷バイパス3工区において、国道工事(路盤掘削)のため、防護措置(曇20枚、丸太23本)を講じて発破を行った際に、発破後、現場代理人らが約90m離れた民家の物置の塩化ビニル波板屋根の破損を発見した。夕方、約80m離れた民家所有者から窓ガラスが破損していると、火薬消費者に連絡が入ったが、事故発生の届け出は行わなかった。翌12日、発破場所から約100m離れた民家所有者から、物置のトタン屋根が破損していると、工事発注者の県の建設事務所などを通じて連絡が入り、現場代理人は、事故の発生を届け出た。事故原因は、防護措置として設置した曇及び丸太が10回程度使用後破損箇所があったため劣化していたと推定される。また、岩盤が見込みより柔らかく、過装薬状態となったものと推定される。
6	11.13 8:00	和歌山県 海草郡	0	2- 0	C	トンネル貫通発破作業を行う際に、反対側工区の安全確認のため、見張りを行っていた作業員2名が、安全確認を行い退避したが、飛び石があたり被災した。1名が顔面及び上腕骨折、1名が右手小指と右足首に骨折の怪我を負った。
7	12.14 16:30	福島県 田村郡	0	0- 0	C	発破作業中に飛石が約300m離れた民家の屋根を突き破った。発破を行った者は、飛石が発生したことに気がつかず、民家からの情報はなかったが、12月16日(水)になり、雨漏りがしたため気がついた。
合計		7件	0	3- 4		

3. 運搬中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0- 0		

4. 貯蔵中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0- 0		

5. がんろう中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0- 0		

6. その他事故

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	2.10 7:20	大分県 中津市	0	0- 0	C	自社の敷地内で紙屑、木屑等のゴミを焼却していたところ、中に入っていたダイナマイトが爆発した。周辺民家や車両に被害が生じた。ダイナマイトは、平成13年12月3日から平成14年3月5日までの譲受・消費許可を受けていた残りのもので、当時よりトラックに積んだままであった。
2	6. 8 10:40	高知県 高知市	0	1- 0	C	消防署職員が救命索発射銃の取扱いに関して教育訓練中、発射手順の確認として空薬きょうを装填したつもりが、誤って発射用火薬の入った薬きょうを装填し、撃鉄のひもを引いたところ、プラスチック製の弾頭が発射され、近くにいた職員の右手に当たるとともに、窓ガラス及び天井の一部を破損した。
3	11.26 13:48	岡山県 和気郡	0	0- 0	C	発煙筒、船舶用信号焰管等の処分を行っている会社において、船舶用信号焰管を処分しようと地面に投げたところ、安全ピンがはずれており、接地時に暴発し、向かい側の林野に着弾、火災が発生し、林野約30aを焼失した。火災は同日16:17に鎮火した。
合計		3件	0	0- 1		

(煙火)

1. 製造中(製造所関係)

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	4.11 13:27	鹿児島県 鹿児島市	9	2-3	A	<p>(1)事故の概要</p> <p>13時27分頃、煙火製造所において、配合所、火薬類一時置場を含む一帯で爆発事故が発生し、従業者9名が死亡、1名が重体(事故発生15日後に死亡)、2名が軽傷を負った。また、周辺住民1名が重傷、1名が軽傷を負い、周辺建物等にも多数の被害を与えた。</p> <p>被害状況：</p> <ul style="list-style-type: none">・人的被害 死者9名、重傷者2名(うち1名は事故発生から15日後に死亡)、軽傷者3名・物的被害 製造所内 全損8棟、半損1棟、小損22棟、車両23台 周辺建物 全焼1棟、半損1棟、焼損97棟、車両18台 計 全焼1棟、全損8棟、半損2棟、小損119棟、車両41台 <p>(2) 発火・爆発原因の特定</p> <p>事故発生現場にいた従業者全員が死亡し、また、配合所、火薬類一時置場等も全壊、事故当時の作業日誌等関係書類が消失していることから、事故時の火薬類の取扱状況、具体的作業内容の事実確認が不可能であり、発火原因、発火場所を特定することは困難であった。鹿児島県が設置した再発防止対策委員会において検討された結果、以下のとおり。</p> <p>発火・爆発箇所の推定</p> <p>事故現場において確認された漏斗状の孔(以下、クレータという。)の状況等から、爆発は、配合所、原料庫2棟、火薬類一時置場及びトラックの5箇所で発生したものと推定される。最初の爆発は、気象庁鹿児島地方気象台の空振計データとクレータの容積から推定される爆発量との関係、発火時の目撃証言等から配合所であった可能性が高い。</p> <p>発火・爆発原因の推定</p> <p>配合所内には2箇所のクレータの発生が認められた。当該配合所で配合していた煙火原料用火薬のうち、爆発によりクレータが生ずる可能性の高いものとしては、過塩素酸カリウムとアルミニウムからなる雷薬、白色光剤及び淹剤が考えられる。</p> <p>従って、事故時の作業としては、これらの火薬類のうち全部又は一部の火薬類の配合作業や淹剤の填薬が行われ、その際に爆発した可能性がある。</p> <p>これら作業中の発火原因を推定するため、当該製造所と同一原料を用いて、同製造所の組成表に従い、淹剤(銀淹)、淹剤の着火薬である緑ランス、紅ランス、雷薬である音、花雷の5種類の煙火原料用火薬を調製し、摩擦感度試験、落つい感度試験及び静電気感度試験を実施したところ、緑ランス及び紅ランスは落つい感度試験で、音及び花雷は摩擦感度試験と静電気感度試験で感度が高いことが判明した。</p>

				<p>この結果から、緑ランス、紅ランスを用いた澆剤の填塞、音、花雷の配合作業中に何らかの衝撃、摩擦または静電気によって発火した可能性がある。</p> <p>なお、事故時以前に当該配合所で行っていた火薬類の種類によっては可燃性固体としてアルミニウム等の金属粉を用いており、事故当日雨天であったことを考慮すれば、これら金属粉と水等との混触による発火の潜在的危険性も否定できない。しかし、この場合の発火の原因は、主として反応熱であり、事故当日、爆発箇所一帯で従業員が作業中であり、発火・爆発に至るまでに異常に気づく可能性が高いことから、自然発火の可能性は低いと考えられる。</p> <p>(3)法令の遵守状況</p> <p>主として以下の項目について火薬類取締法に適合していない事実が認められた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配合所及び火薬類一時置場に、事故当時、定められた停滞量を超えて大量の火薬類を存置していたと推定されること。 ・ 火薬類を置いてはならない原料庫2棟に事故当時、大量の火薬類を存置していたと推定されること。 <p style="text-align: right;">等</p>
合計	1件	9	2-3	

2. 消費中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	1. 1 0:20	長野県 飯田市		0- 0	C	水晶山山頂において、新春祝賀花火を打ち揚げたところ1発が通常より低い位置で開き、消費現場から約200m離れた落ち葉に着火、延焼して雑木林の枯れ葉53㎡を焼いた。【部品等落下】
2	1. 2 18:35	栃木県 芳賀郡		0- 1	C	サーキット場の正月イベントにおいて、17時40分から花火が打揚げ開始され、開始後、やや強い風(風速5m/s)が観客席に向かって吹き始め、18時05分頃、打ち揚げた「人工衛星」が観客席に落下し、観客の頭に当たった。【部品等落下】
3	3. 2 14:39	大阪府 大阪市		0- 0	C	テーマパークにおいて、14時40分頃、アトラクションのステージ上にあったスピーカーのウレタンが焼けた。原因は、パイロの火が移ったものと思われる。アトラクション終了時に発見され、火は従業員により即座に消火された。けが人はなかった。【不注意】
4	6. 5 20:57	愛知県 名古屋市		0- 2	C	熱田神宮の例祭「熱田まつり」のため、約900発の花火を打ち揚げていたところ、終了間際に、地上に置いてあった煙火玉(3号玉)に引火した。この事故で打揚従事者2名が手や足に軽度の火傷を負った。【不注意】
5	7.20 21:25	沖縄県 浦添市		0- 1	C	「てだこ祭り」において打ち上げられた3.5号玉が黒玉となり、約180m離れた場所にいた観客(23歳、男性)の右腕に当たり、観客が打撲傷を負った。【黒玉】
6	7.27 20:00	鹿児島県 曾於郡		0- 1	C	公民館で行われた集落の六月灯(ろくがつどう、鹿児島県内各地の社寺での夜祭りのこと。)で、花火を打ち揚げようと打揚筒に火薬20gと煙火玉を入れ、導火線をセットし、ライターで点火したがすぐに消え再度点火したが打揚筒穴付近でまた消えたため、直ちに予備の導火線に点火し、筒の上から投げ入れた瞬間、花火が打ち揚がり、作業員1名が負傷した。(無許可消費中)【不注意】
7	7.27 20:00	愛知県 豊田市		0- 1	C	豊田おいでんまつりにおいて、観客一人が火傷を負った。付近に黒玉が転がっており、これが当たったものと推定される。【黒玉】
8	8. 2 20:00	埼玉県 越谷市		0- 1	C	越谷花火大会において、打ち揚げの場所から約200m離れたところで、煙火の燃えがらが観客の右目に入り、1名が軽傷を負った。【部品等落下】
9	8.10 20:45	福岡県 八女市		0- 1	C	矢部川物語花火大会において、3.5号玉が消費現場対岸に不発弾として落下して爆発した。その際、警備に当たっていた消防団員に火の粉が当たり、軽傷を負った。【黒玉】

10	8.14 21:10	徳島県 三好郡		1- 0	C	<p>夏まつりMINO花火大会において、3号玉の早打ち中に打揚従事者の右手首等に玉が当たり重傷を負った。(全治3ヶ月)</p> <p>当日、雨天だったため、打揚筒の先端に新聞紙を被せて雨の侵入防止を図っていた。3号玉の早打ちの際に、前の玉の発射薬の火で引火していた隣接筒の新聞紙の火によって、打揚従事者が持っていた玉の発射薬に引火し、これに気づかず、その玉を筒に入れたところ、焼金に到達する前に発射されたため、手を引くタイミングが遅れ、玉が右手首等に当たった。【不注意】</p>
11	8.16 20:22	鳥取県 日野郡	1	0- 1	B	<p>「黒坂納涼まつり」のために、煙火を打ち揚げていたところ、正常に打ち揚がらなかったため、煙火筒に注水しようとした時、煙火筒内で5号玉(直径15cm)が暴発し、煙火筒が倒れ、近くにあった煙火83発が誘爆した(誘爆した煙火は5号玉44個、4号玉(直径12cm)39個)。その際、注水しようとした煙火店従業員1名が死亡した他、現場にいた男性1名が脇腹に軽いやけどを負った。【不注意】</p>
12	8.16 20:00	岩手県 胆沢郡		0- 1	C	<p>前沢夏まつり花火大会において、大会本部付近にいた高校1年生の女性の目の中に煙火の灰が入った。女性が「目がひりひりする」との症状を訴えたため、救急車で県立胆沢病院へ搬送され診察を受けた。【部品等落下】</p>
13	8.22 19:53	富山県 富山市	1	0- 0	B	<p>福祉施設の夏祭り行事としての花火大会で、打揚作業を行っていた打揚従事者が、何らかの理由で打揚筒(煙火3号玉用)をのぞき込んだ際、3号玉が発射され従事者の顔面を直撃した。従事者は救急車で病院に搬送されたが、同日21時20分頃、脳挫傷のため死亡した。【不注意】</p>
14	8.23 21:15	沖縄県 中頭郡		0- 2	C	<p>勝連町復帰記念運動場で開催されていた「第17回かつれんまつり」において打ち上げられた煙火(3号玉の二度咲き)が上空で一度開発した後、中に入っていた小さな煙火が約40m離れた同運動場の隅に落下し地面で開発し、破片の一部が開発地点から約30m離れたところにいた観客(女性(30歳)と女性の息子(1歳))に当たり、2人は顔や手に火傷を負い、県立中部病院に搬送され手当てを受けた。【部品等落下】</p>
15	8.24 21:07	福岡県 柳川市		0- 0	C	<p>第5回有明海花火フェスタにおいて、有明海堤防上に3100mに渡って設置したナイアガラ煙火の消費中に、堤防の枯草4ヶ所に着火した。消火作業の末、合計400m²の枯草を焼いて21時52分に鎮火した。出火当時の風速は4m/sだった。怪我人はなかった。【部品等落下】</p>

16	9. 6 20:57	長野県 長野市		0- 1	C	古戦場フェスティバルの花火大会において、打揚花火(スターマイン、直径約8cm、重さ約100g)が不発のまま落下し、打揚場所から138m(立入禁止区域外)離れた観客の頭部に落下し、救急車で市内の病院に運ばれた。【黒玉】
17	9.21 12:00	静岡県 引佐郡		0- 1	C	井伊谷宮の祭典における花火の打ち上げを行ったところ、上空で開発せず、地上に落下して爆発し、打ち上げ者の男性が左足、胸部に火傷を負った。【黒玉】
18	9.27 19:00	岐阜県 恵那市		1- 2	C	「2003年みのじみのり祭り」で、手筒花火愛好グループが横3列に並び、手筒花火の実演を行った。1回目に(大)(直径6cm、長さ60cm、火薬約1200g)を揚げていたところ、下部の異常噴出により1名が腕や足などに火傷を負った。そのため、2回目以降は手筒花火(中)(直径4.5cm、長さ30cm、火薬約300g)のみで続行したが、4回目に、点火後10秒程で手筒花火の筒が破裂し1名が右手裂傷の重傷を負った。また、異常噴出により1名が腕や足などを火傷を負った。【製品不良】
19	10.11 18:50	広島県 広島市		0- 1	C	観音神社境内の秋祭りの神楽で、吹き上げ花火を消費していたところ、3回目の消費の際、竹筒内で爆発的に燃焼し、竹筒を収納していた防護用塩化ビニールパイプの上部の一部が破損し煙火点火者1名が負傷した。原因については、火薬の装填などの調査をしたが確定できず、筒に装填された火薬が異常燃焼したものと推定された。【製品不良】
20	10.13 19:50	長野県 下高井郡		0- 0	C	「第46階全国煙火競技大会」において、消費現場近くに段ボール箱に入れて地上に置かれた煙火玉(5号玉、5個)に先に消費した煙火(5号玉、1個)の火種と思われるものが着火し地上で開発、付近の枯木、芝を焼いた。事故発生時、段ボール箱には麻布性の覆いをかけ、作業者がしゃがんで覆いを手で押さえていたが、覆いの隙間から箱の中に火種が飛び込み、煙火玉に引火した。【部品等落下意】
21	11. 8 20:30	山口県 厚狭郡	2	1- 1	B	埴生漁港で開催されていた、まつり山陽前夜祭の花火大会(合計4500発消費予定)で、終了間際のスターマインの消費中に筒に入れた花火が暴発し、打揚作業中の従業員2名が死亡、1名が重傷、1名が軽傷を負った。観客に負傷者は無かった。約80m離れた2ヶ所の打ち揚げ場所ではほぼ同時に暴発しているため、花火自体に欠陥(爆発した玉は中国製)があった可能性もあり調査が進められている。【製品不良】

22	12. 1 18:46	大阪府 大阪市		0- 1	C	テーマパークにおいて、クリスマスショーを開催中パイロを消費したところ、風（最大風速3.9m/秒）により、ダストが観客の左目に入り下瞼内側に1mm大の傷を負った。 【部品等落下】
	計	22件	4	3-19		

3. 運搬中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

4. 貯蔵中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

5. がんろう中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

6. その他事故

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

(がん具煙火)

1. 製造中(製造所関係)

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

2. 消費中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	8.15 19:35	福井県 小浜市	0	0-0	C	がん具煙火消費中に、花火が横に飛び、空き家の茅葺き屋根に燃え移り空き家が全焼した。
2	8.20 19:40	東京都 世田谷区	0	1-0	C	がん具煙火消費中に、女兒の衣服に火が燃え移り、顔や胸に火傷を負った。
合計		2件	0	1-0		

3. 運搬中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

4. 貯蔵中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

5. がんろう中

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
1	3.14 12:30	宮城県 仙台市	0	1-0	C	中学生が自宅で爆竹等の火薬を集め、真ちゅう筒に入れていたところ、爆発し、右手に重傷を負った。
合計		1件	0	1-0		

6. その他事故

番号	発生日時	県名	死	傷	級	事故概要
合計		0件	0	0-0		

[] 参考

盗難・紛失等

番号	発生日時	県名	概要
1	7.17 15:10	滋賀県 高島市	事務所内の鍵のかけられたロッカー内に長期間ダイナマイト等の火薬類が保管されていた。約20年前から保管されていたと考えられるが、当時の消費等の書類は何も残ってなく、引継ぎ等もなされておらず、今般、ロッカーを開けたところ発見された。
合計		1件	

事件

番号	発生日時	県名	概要
1	4.17 8:55	栃木県 足利市	元花火師の男が知人に「爆弾を作って人を殺す」と電話し、知人が警察へ通報、駆けつけた警察官が本人を説得中、金属缶に黒色火薬(約1kg)を詰めた爆発物に点火し、爆発させた。本人は胸などにやけどを負い重傷。説得にあっていた警察官も顔などに軽いやけどを負った。
2	5.3 16:00	静岡県 御殿場市	民家の作業小屋で爆発事故があり、中にいた男性が重傷を負った(3日後に死亡)。作業小屋から、155mm砲弾など砲弾212発、小銃弾242発が警察に押収された。
3	6.4 7:10	宮崎県 宮崎市	宮崎市内の複合商業施設の正面玄関前歩道でコーヒー缶のようなものが破裂、爆発音がしたと110番通報があった。1階ショーウインドに白いペンキのようなものが付着したが、けが人はなかった。付近にコーヒー缶の破片のようなものと赤いリード線が落ちていた。警備員は現場で火薬のにおいと煙が漂っているのを確認したとのこと。
4	6.6 20:10	東京都 新宿区	明治公園内の近衛師団歩兵第六連隊石碑前の植え込みの中に爆弾のような金属製物質があるのを公園の管理人が発見し警察に届け出た。警察の調べでは、金属製物質は、パイナップル型で、直径約5cm、長さ約15cmで尾部に金属製の羽根が4枚ついており、旧陸軍の迫撃砲弾に似た形状という。着弾の跡もなかったことなどから、何者かが置いたと見ている。
5	6.30 21:00	静岡県 裾野市	運送会社の支店において、運搬荷物の仕分け作業中に段ボール箱の一つが爆発し、作業中のアルバイト従業員男性が負傷した。爆発した箱以外にも銃弾と見られるものが入った箱が数個あり、県警機動隊と陸上自衛隊爆発物処理班が出動した。
6	7.1 11:40	東京都 千代田区	首相官邸前の路上で男が持ってきた花火(直径約3.4cm、長さ約20cm)に着火し官邸敷地内に投げ込んだ。

7	7.13 5:27	福井県 福井市	<p>路上で手製爆弾が爆発し男性が全身に火傷を負った。男性が乗ってきた車及び男性の自宅から手製の爆弾が計8個発見された。また、男性の自宅からは、花火のほか黒色火薬の原料となる農薬や木炭、すり鉢など火薬の製造に必要な器具が押収された。</p>
8	8.13 17:40	千葉県 松戸市	<p>民家で爆発があり、中にいた男性が死亡した。爆発後、周囲には火薬のにおいが立ちこめていた。警察では、死亡した男性が爆発物を爆発させて自殺を図った可能性があるとして調べている。</p>
9	8.23 16:58	鳥取県 岩美郡	<p>道路上の自動車内で男性が倒れているとの通報があり、救急隊が出動したところ、男性は既に死亡していた。車内で何か爆発した様な痕跡があり、車はフロントガラスが破損していた程度で被害は少なく、死亡した男性の腹部に外傷が集中していた。</p> <p>警察の捜査によると、車内及び事故当事者の身体で電気雷管の脚線と推定されるリード線の破片が、車内で前述のリード線が巻き付いた9ボルト乾電池が発見された。また、含水爆薬の成分の一部が車内で検出されたが、さらに科学捜査研究機関で鑑定中であり、爆発物、起爆材及び点火方法については特定に至らず調査中である。</p> <p>上記の車内見分及び関係者の供述から本件に第三者が介入したことは認められず事故当事者が含水爆薬との火薬類を車内に持込み、意図的に爆発させた者と推定される。</p>
10	8.31 15:50	沖縄県 沖縄市	<p>廃品回収資材置き場で15:50頃爆発が発生し、航空自衛隊員（男性53歳）が死亡した。死亡した自衛官は非番であるため、不法に火薬類を扱っていた最中に爆発した模様。那覇市にある自衛官の自宅を捜索したところ、大量の実弾や銃器が発見され、M72対戦車66ミリロケット弾には弾等は無いが信管がついており、爆発する可能性があったため、土嚢で保護措置を行い、米軍、自衛隊の協力を得て9月6日に処理を行った。</p>
11	9.11 14:20	東京都 千代田区	<p>衆議院議員会館内の議員事務所に、銃弾らしきものが入った封筒が届いた。</p>
12	9.14 17:06	京都府 京田辺市	<p>被疑者が電気雷管1個を口腔内に入れ、リード線及び乾電池を用いて電気雷管を爆発させ、自殺を企てたが、未遂だった。</p>
13	10.14 21:50	宮城県 古川市	<p>警察署に時限装置付ダイナマイトが仕掛けられた。ダイナマイトはトンネル工事用のもので、時限装置としてアナログ式時計と乾電池リード線が使われていた。10月30日に建設会社社長が逮捕された。古川市内で発生した爆発事件2件への関与も認められた。</p>
14	10.20	東京都 千代田区	<p>元衆議院議員事務所に、銃弾1発が入った封書が届いた。</p>
15	10.20	神奈川県 小田原市	<p>衆議院議員の自宅に、銃弾1発が入った封書が届いた。</p>
16	10.20	大阪府 大阪市	<p>衆議院議員事務所に、銃弾のようなもの1発が入った封書が届いた。</p>

17	10.20	山形県 鶴岡市	元衆議院議員事務所に、銃弾1発が入った封書が届いた。
18	11. 2 6:15	東京都 千代田区	日比谷公園ので交番の警察官らが爆発音を聞いた。公園内の池から水柱が上がるのを見たとの目撃情報もあった。原因については捜査中。
19	11.11	東京都 八王子市	中学校のゴミ集積場で爆発音がした。警察が調べたところ、現場で円筒状のプラスチックケース(長さ約10cm)とキャップ、粘着テープ、ろうそくが見つかった。ケースに火薬を詰めて爆発させたとみられる。
合 計		19 件	

その他

番号	発生日時	県名	概要
1	7.19 19:55	三重県 伊勢市	第51回伊勢神宮奉納全国花火大会において、5号玉(直径15cm以下)を打ち揚げた際、2発が不発落下した。
2	8.25 19:55	新潟県 北蒲原郡	水原まつり花火大会において、3号玉11連発中1発が開発せず瓢湖に落下した。後日、落下場所の瓢湖内で発見され、回収された。
合 計		1 件	

火取法対象外

番号	発生日時	県名	概要
1	2. 6 14:35 15:00	神奈川県 平塚市	14時35分、15時に、平塚市消防本部防災課から地上から頭が1/3出た不発弾(推定 太さ20cm、長さ50cm)1個が発見されたと通報があった。18時02分、自衛隊が回収したとの報告があった。
2	2.12 8:40	広島県 安芸郡	約50年前から民家の軒先に放置していた不発弾(直径約6.5cm、長さ約22cm)を処分したいと町の女性から管轄の消防に連絡があった。
3	2.21 7:50	鳥取県 気高郡	民家の土蔵の改修工事のため土蔵内を整理中、不発弾(直径7cm、長さ31.5cm、重量6.5kg)が発見され、警察に届け出た。
4	3. 8 15:10	京都府 京都市	遺品整理中に第2次世界大戦終戦時に旧日本陸軍退官記念として自宅に持ち帰えられた砲弾(直径約7.5cm、長さ約24cm)が発見された旨、警察に通報があった。

5	3.10 10:00	京都市 舞鶴市	ゴミ収集場日に、発見者が金属の分別をしようとしたところ、他の金属と一緒に捨てられていた砲弾様のもの(直径約4cm、長さ約13cm)1個を発見し、届け出た。
6	3.17 10:00	青森県 むつ市	土木業者がしゅんせつ作業前の潜水調査をしていた際、第一突堤の北東800～1300m、深さ8mの海底3ヶ所で砲弾を発見した。 発見された砲弾： 91式砲弾(口径127mm) 8発 91式機雷 2発 爆弾らしきもの 1発
7	4.11 15:00	広島県 安芸郡	道路工事現場で擁壁の取り壊し作業中に作業員が、擁壁のコンクリート中に砲弾(直径約25cm、長さ約75cm)を発見した。
8	4.17 1:00	神奈川県 横浜市	ガス管移設工事現場の地中から、旧日本軍のものと思われる砲弾約800発が見つかった。信管は抜かれていた。 発見された砲弾の種類：直径約4cm、長さ約13cm 直径約5cm、長さ約25cm 直径約8cm、長さ約31cm
9	4.20 16:00	京都府 京都市	発見者が自宅倉庫の改築に伴い倉庫内を整理していたところ、実父のものと思われる木箱の中から砲弾様のもの(直径約4cm、長さ約16cm)を発見し警察署へ届け出た。
10	5.4 10:00	京都府 宮津市	発見者が田植え中、土中に砲弾(直径約2cm、長さ約10cm、重量約300g)1個を発見し警察に届け出た。
11	5.19 16:00	沖縄県 那覇市	沖縄県那覇市の施設である歴史資料室で沖縄戦当時のものと見られる火薬入りの銃砲弾等(約400発)が放置されているのが19日夜、発見された。那覇市は警察に通報し、20日午後、陸上自衛隊により回収され、県の処理施設に移送された。 火薬類の種類及び数量： 手榴弾16発、50mmてき弾26発、81mm迫撃弾1発、 照明灯1発、照明剤1発、薬きょう15個、小銃弾356発
12	5.21 12:16	京都府 京都市	発見者が庭の草むしりをしていたところ、地面に埋まっていた砲弾(直径約8.5cm、長さ約23.6cm)1個を発見し、警察へ届け出た。
13	5.23 10:00	広島県 広島市	下水道工事現場で道路掘削中の業者が不発弾(直径17cm、長さ54cm)1個を発見し警察に届け出た。
14	5.26 19:05	北海道 函館市	函館市内の郵便局で、窓口で受け付けた郵便小包が爆発し、郵便局員が左手人さし指と中指を骨折する重傷を負った。小包の中には、エアバッグ付きの自動車ハンドルが入っており、何らかの衝撃でエアバッグ装置が作動したとみられる。

15	6. 2 9:00	山形県 山形市	道路拡張に伴い予定路線内にある会社事務所を解体していたところ、地下室部分より木箱に入った電気雷管が見つかった。見つかった木箱及び電気雷管は相当古いものだった。
16	6. 6 9:30	京都府 舞鶴市	発見者が、舞鶴市内の国道27号線沿いの不燃物(金属)回収置き場において、金属回収に行ったところ、廃棄物内に砲弾(直径約4cm、長さ約16cm、重量890g)1個を発見し、警察へ届け出た。
17	6.26 10:45	広島県 広島市	埋立工事のための海底探査中の潜水士が旧日本軍の砲弾(直径15cm、長さ55cm、重さ42kg)1個を発見し、海上自衛隊が回収した。
18	7. 2 16:20	山形県 飽海郡	静岡県内の運送会社で発生した不発弾爆発事故のニュースを見て、以前から会社員宅にあった砲弾について心配した家族が警察署に届け出た。砲弾は会社員の祖父が日露戦争時の戦利品として持ち帰ったものとのこと。 当該砲弾(直径6.5cm、長さ30cm、幅10cm、重さ5.3kg)は旧日本軍の砲弾で、火薬が入っており信管がついていた。
19	7. 4 10:20	山形県 東村山郡	飽海郡平田町での不発弾回収の記事を見て、中山町内の会社員宅物置小屋に置いていたことを思い出したため、会社員の家族が町役場に連絡した。その後、陸上自衛隊第6師団が回収した。砲弾は会社員の父が日中戦争時の戦利品として持ち帰ったものらしい。会社員の父が亡くなり、その法要の際、持ち物を整理していたところ発見し自宅敷地内の物置小屋に置いていた。 当該砲弾(直径約8cm、長さ約35cm、重さ3.7kg)は中国軍の迫撃砲弾とみられ、火薬が入っており信管がついていた。
20	7.30 23:30	愛媛県 伊予三島市	中国から輸入したボイラー燃料用石炭の中に、石炭採掘時に混入残存したとみられる不発雷管4本が発見された。
21	8.12 8:50	広島県 広島市	埋立工事の事前調査をしていた潜水士が砲弾らしいものを4個見つけ広島海上保安部に通報した。3個は砲弾(直径15cm、長さ50cm、重さ45kg)で、1個は爆雷(直径45cm、長さ80cm、重さ200kg)と見られ、いずれも旧日本軍のものと思われる。
22	9. 4 15:00	宮城県 加美郡	民家の自宅改修工事中に床の間飾り戸棚から不発弾(直径約7.5cm、長さ約33cm)1個が発見された。不発弾は、9月6日、陸上自衛隊により回収された。
23	9. 8 17:00	鳥取県 境港市	新都市区画整理事業のため積んでいた土砂の整地中、土中から不発弾(直径20cm、長さ65cm)1発を発見し、9月9日9時20分頃工事現場責任者が境港署に通報した。不発弾は、先端に約1cmの信管らしきものがあり、旧日本軍の60キロ爆弾と思われる。
24	9. 9 7:45	京都府 京都市	引越センターの駐車場において、従業員が砲弾(直径約8cm、長さ約21cm)1個を発見した。関係者から事情聴取した結果、9月4日に同社アルバイト従業員が引っ越し先の住宅にあったものを譲受し、同社の駐車場内に置いたものと判明した。

25	9. 9 17:00	大阪府 大阪市	マンション建設工事現場で、建設作業員が掘削作業中に深さ約4メートルの土中に不発弾(直径60cm、長さ1.8m)が埋まっているのを見つけた。不発弾は、第二次世界大戦中に米軍が投下したとみられる米国製1トン爆弾で、弾頭と弾底部分に信管が残っており、火薬も残っていた。
26	9.19 18:00	宮城県 加美郡	酪農家宅の牛舎脇の側溝工事中に不発弾(直径約13cm、長さ約45cm)1個が発見された。不発弾は、9月20日、陸上自衛隊により回収された。
27	9.24 10:00	神奈川県 逗子市	小学校の新校舎建設現場で、建設作業員が掘り起こした盛り土の中から、不発弾3発(直径6~10cm、長さ15~30cm)を見つけた。自衛隊によって13時過ぎに撤去された。
28	10. 6 11:00	愛媛県 今治市	今治市北浜町沖合で、海中磁気探査作業中の作業員が、砲弾のようなものを2個発見し、今治海上保安部に通報した。発見された不発弾は旧日本陸軍の10cm砲弾及び15cm砲弾で、10月7日、海上自衛隊により回収された。
29	10. 9 15:49	広島県 広島市	女性から自宅の床下にロシア製の砲弾2個(直径6cm、長さ27cm及び直径8cm、長さ30cm)が保管されていると警察に通報があった。砲弾は海洋投棄処分するため陸上自衛隊第13旅団が回収した。
30	10.20 10:00	愛媛県 松山市	20~30年前に市内の池にダイナマイトを捨てたとの供述を得て、警察が捜索した結果4リットルオイル缶に詰められたダイナマイト状のもの(雷管を含み隙間をセメントで固めてある)、2缶を確認し回収した。20数年前に作られた手製爆弾と思われる。同物品は警察により11月7日に殉爆処理された。
31	11.10 18:40	北海道 稚内市	稚内港の沖合約100mで、しゅんせつ船が引き揚げた砂の中から不発弾(直径9.5cm、長さ52cm)1発が見つかり、業者が稚内海保に届け出た。旧日本軍の砲弾と見られ、陸上自衛隊第2師団に引き渡された。
32	11.26	沖縄県 中頭郡	民家から「庭先に不発弾らしき物がある」と警察に通報があり、陸上自衛隊及び米軍が確認したところ、米軍の1964年製の対戦車りゅう弾(直径約9cm、長さ約65cm、信管付き)であることがわかった。12月3日に米軍と陸上自衛隊の爆発物処理隊が処理作業を行った。30数年前にこの家の家族が拾ってきて放置していた。
合 計		32件	